



災害廃棄物処理計画の 策定状況は

三宅和広 議員

最近の豪雨災害で、災害廃棄物処理計画が未策定であった自治体で仮置き場の選定に時間を要し、ごみの受け入れが困難となり、復旧作業や住民生活に支障を来したと報道されている。

が、早急に策定し万一に備える必要があるのではないかと。本市の策定状況はどのようになっているのか。

本市ではまだ災害廃棄物処理計画を策定していない

山本市長 来年度中に災害廃棄物処理計画を策定したいと考えている。ただし、仮置き場の選定などの重要な項目については今年度中

災害廃棄物処理計画で定めること

- ・廃棄物発生量の推計
 - ・仮置場の設置、運用方針
 - ・生活ごみ、避難所ごみ、トイレのし尿の処理体制
 - ・周辺自治体との連携事項
- 仮設 など

災害廃棄物対策指針（環境省環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）を参考に作成

に検討し、災害に備えていきたい。

松浦市民部長 天童市内でもさまざまな災害が想定される。そうした災害を想定

して、仮置き場を指定していききたいと考えている。

SNSを災害発生時に活用する考えは

フェイスブックやツイッターなどのSNS（会員制交流サイト）は情報を瞬時に拡散することができる。そのため、災害時の情報発信・情報収集手段として、SNSを導入する自治体が増えている。

本市においても災害時に

SNSを活用して情報発信・情報収集をする必要があるのではないか。

山本市長 情報の拡散など新たな情報伝達の効果が期待されるため、今年度中にフェイスブックの運用を開始する予定である。また、災害時の情報伝達に限らず、生活情報や観光情報など市政全般の情報を発信し、親しみを持って利用していただけるSNSを目指したい。